

第11回 善通寺市学校等再編整備討委員会 概要

1. 日 時 令和7年10月20日(月) 午後7時～午後8時23分
場 所 善通寺市役所4階 401～403会議室

2. 出席委員

片山 昭彦	委員	高畑 智	委員
畑田 裕康	委員	米村 徹	委員
大林 勇太	委員	横田 飛真	委員
宮武 有奈	委員	徳山 恵	委員
田嶋 三枝	委員	町田 由紀	委員
山本 幾代	委員	井内 礼子	委員
大西 英和	委員	森江 清文	委員
田中 康隆	委員	松村 早記	委員
森 史郎	委員		

3. 市側出席者

教育部長 尾松 幸夫

学校再編対策課

課長 山地 匠 課長補佐 内田 貴史 課長補佐 林 健一郎

教育総務課

課長 高畑 往立

4. 議 事

グループワーク 小学校の再編について

全体会議

5. 概 要

〔事務局〕

本日は、昼間のお仕事等でお疲れのところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、第12回の学校等再編整備検討委員会を開催します。片山会長、進行の方をよろしくお願いします。

〔議長〕

みなさん、こんばんは。

議論の内容が小学校の再編に入っており、なかなか難しくなっていると思いますが、今回も、小学校の議論を進めていきたいと思います。

今回は大きく分けて、2つの議題があります。一つは、小学校の再編に関すること、もう一つは、アンケートの実施に関することです。ですので、本日は、前半に小学校の再編に関する議論の続きを行い、後半にアンケートの議論をすることになると思います。

それでは議事に入りたいと思います。

今回も、ご案内のとおり、まずはグループワークで議論をしていただきたいと思います。

グループワークの内容は非公開となっておりますので、ぜひ忖度のない意見を交わして議論を深めてください。

まず、本日の進め方と資料についての説明を事務局からお願いします。

〔事務局〕

本日の進め方を説明いたします。

今回のグループワークでは、前回議論しました小学校2校案、3校案のメリット・デメリットについて、意見をまとめた資料をお手元に用意していますので、それを踏まえて議論していただきたいと思います。

今回は、学校をどこに配置するかは抜きにして、2校案か、3校案かについて、どちらがいいかグループで議論していただきたいと思います。

まず、何校案がいいかを決めて、それが決まれば次にどこに配置するのがいいかを決

めていくという進め方をしたいと思います。

まずはそれぞれのグループで2校案か3校案かを決めてください。全大会議の最初に、どちらに決めたのかを発表していただきます。

それでは、資料説明をさせていただきますが、まずは、資料の確認をさせていただきます。

資料は、右肩に資料番号をつけておりまして、資料1から資料5まであります。

資料1は、前回のグループワークで議論した2校案3校案のメリット・デメリットをまとめたものになります。

資料2は、前回のグループワークで、こちらのお示しした案とは別の案が意見として出ましたので、それを具体化したものです。資料2と配置図の資料である2-1があります。

資料3は、近隣市のこども園の情報を参考にした建設費用の概算です。

資料4は、学校再編全体のスケジュール案です。

最後に、資料5は、前回お話ししました学校再編に関するアンケートを修正したものです。

以上、資料1から資料5になりますが不足はないでしょうか。

それでは、資料の説明をさせていただきます。

まず、資料1は、前回のグループワークで出た意見をまとめたものになります。

次に資料2ですが、前回のグループワークで、こちらがお示しした案以外の校区分けの案をいただきましたので、それを具体化したものです。

ベースとなった案は、前回の2校案の校区を南北に分けた案です。前回の案では東部、竜川、筆岡、吉原のA小学校と、中央、西部、南部、与北のB小学校となっておりましたが、南と北で児童数の差が大きくなってしまうという欠点がありましたので、それを竜川、与北、筆岡、吉原のA小学校と、中央、西部、南部、東部のB小学校に組み替えてはどうかという意見をいただき、そのご意見をもとに具体化し、児童数のバランスを良くした案になります。

資料2-1をご覧ください。B小学校は西中学校とし、A小学校は東部小学校か筆岡小学校に配置するのがバランスがいいのですが、筆岡小学校は狭いというご意見があり

ましたので東部小学校に配置しています。

そうすると、東部校区の児童について、東部小学校があるのに西中学校に行くということになるので、実際は、この案であれば、東部校区を2つに分けて近い方に通うなど、今の校区に縛られない新しい線引きが必要になり、どこに線引きをするのかが大事になってくると思います。

次に資料3ですが、こども園の時にもありましたが、近隣市町の施設を参考にした建設費用の概算資料になります。現在建設中の小学校が三豊市と丸亀市にありましたので、現段階では、最新の単価になっていると思います。

偶然ですが、この2校の資料から1㎡の単価を計算すると、1㎡あたり約430,000円と同じ単価になってしまったので、規模によって比較する場合は、あまり参考にならない資料になっています。その点をご容赦いただき、1㎡あたり約430,000円必要ということ参考にしていただければと思います。

資料4ですが、この資料は、この場限定の資料とさせていただきたいので、本会終了後に回収させてください。

小学校の再編を考える場合、どうしてもかなりの時間を要することが想定されますので、2校・3校を考える上でイメージがしにくい状況であると思いますのでスケジュール案を作成してみました。

最短で考えますと、1校目の小学校は2035年、10年後くらいに開校するというイメージです。2校目に関しましては、先にこども園の2園目を整備したいので、その後2041年の開校というイメージです。最短でもこれくらいのスパンはあるとみて考えていただけたらと思います。繰り返しになりますが、これはあくまで理論上の最短案ですので、この案が独り歩きしないようにご配慮をお願いします。

資料5は、アンケートの修正案になります。

これについては、次第の3「その他」のところで説明します。

資料についての説明は以上です。

グループワークについてですが、各グループの机に記録用紙を置いてありますので、メモ書き程度で結構ですので、どなたか記録係をお願いします。記録は会議後に回収し、次回の参考にさせていただきます。グループワークの後、その記録をもとに、全体会議

の最初にどなたかに発表していただきますので、発表者も決めておいてください。

それでは、片山会長、よろしくお願いします。

〔議長〕

それでは、時系列についても考慮しながら、グループワークを進めていただきたいと思います。時間は、いつまでとしましょうか。

〔事務局〕

グループワーク終了の目安としては、19時35分までとしてください。

〔議長〕

それでは、グループワークを始めてください。

～グループワーク 非公開～

〔議長〕

みなさん、グループワークありがとうございました。

これからは、全体での議論をしていきます。

2校案3校案、どういう理由で、どちらに決めたかをグループごとに発表していただきます。4グループをA～Dグループとして、Aグループから発表をお願いします。

〔Aグループ〕

私たちは、2校案が良いのではないかと考えました。

児童数の減少を考慮し、クラス替えができる人数を確保できること、また、建設費用を抑えられることから、2校案を検討しました。

こども園が先に1園できるということで、時間的なことを意識しながら、こども園そして小学校とひとつずつやっていくのが良いのではないかという意見がでました。

〔Bグループ〕

私たちも3校案の検討はしておらず、2校案のメリットを強く感じています。

クラス替えについて、2040年で3クラスをキープしておきたいところでして、2クラスよりは3クラスの方が児童間の様々な課題に対応できると思いますし、建設コストについても今後どんどん上昇するのではないかと予想されますので、3校を建設するの

は難しいのではないかと考えました。

また、最近文科省が推進している教科担任制について考えた際、5年生や6年生で中学校のように国語・算数等を教科担任制でする場合、2クラスだと実際には難しく、3クラスの方がしやすいので、その点からしても2校案が良いと思います。

〔C グループ〕

私たちは2校案と3校案を検討しましたが、明確な答えが出ませんでした。

地域性を重視するなら3校案、また、児童数が減る中で社会性を重視するなら2校案になると思います。

また、3校案について、児童数だけではなく今後先生の数も減ってくるだろうから先生の配置も大変だろうという意見がでました。

校区については、西小学校と東小学校になった場合、東部小学校という名前は無くなりますので西小学校に行っても気にはならないだろう、また、庄内線などで新たな校区分けをしてもいいんじゃないかという意見がでました。

スケジュール的なものについて、1園目のこども園ができた後、残る幼稚園・保育所の子ども達は2039年までそれまでなのか、小学校についても、2035年に1校目ができた後の小学校はそのままなのか、そうだとしたら、統合を考えないといけないが、そうなった場合、制服や校歌の問題が出てくるといった話をしました。

〔D グループ〕

3校案が良いのではないかと考えました。

今回の資料であれば、建設コストがそれほど変わらないので、コスト面をクリアできるのであれば、1学年2クラスをキープできるという前提ですが、徒歩通学ができる範囲が広がる3校案が良いのではないかという結論になりました。

〔議長〕

みなさん、ありがとうございます。

グループ発表の結果を踏まえると、A・Bグループが2校案、Cグループがどちらかには絞れず、Dグループが3校案を推すということになりました。

スケジュール的には、もしこの場で2校案か3校案に意見が統一されれば、次回から小学校と一緒にこども園の地図上での検討をしていこうかと考えていました。しかし、

2校案と3校案にそれぞれ良い面がありどちらも捨てがたい、ということになっていますので、次回、もう一度2校案か3校案かの議論を進めて行こうと思います。

例えば、少人数制が良い、社会性を身につけるにはある程度の規模が必要など、それぞれのメリット・デメリットがありますが、どちらをとるかということは非常に難しいと思います。来月、その点を検討したいと思います。決定的なものはなかなか出てこないかもしれませんが、我々も委員会として提案をしていかなければならないので、明確な根拠をもって、委員会の結論を出していきたいと思います。ご理解をいただきますようお願いいたします。

〔委員A〕

各グループからでた「いいと思う」という意見の根拠を整理し、回りの資料として見える化していただきたい。そうすると、議論が深まると思います。

〔議長〕

では、5分ほど時間をとりますので、この部分の資料が足りない、この部分を詳しく資料化してほしい、といった要望があれば、それぞれのグループにて提出シートに書き加えてください。

提出シートに記載された内容を踏まえて、事務局に次回資料の作成をお願いします。

～グループワーク～

〔議長〕

各グループで、提出シートへの記入は終わりましたでしょうか。

こども園の時の議論でもありましたが、時系列で考えた際、いきなり2校新設といったことはないかと思います。その間、どこかの小学校の運営が厳しくなれば、別の小学校で吸収するといった議論もあり得るかと思いますが、15年後、20年後まで展開していく学校再編の中で、その時々で状況で、何校案で計画したけれども、やっぱりそれを修正してというようになってはいけないと思います。先を読むというのは難しいことではありますが、我々の提案というのは、「何校案でいきたい」という内容を明確に示さなくてはなりませんので、今回は、皆さんの意見をしっかりと用意してきていただき、

積極的な議論展開をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、次第の「3 その他」に移りたいと思います。学校の再編に関するアンケートについて事務局から説明をお願いします。

〔事務局〕

前回の検討委員会で、中学校再編についてのアンケートをお示ししたところ、「アンケートの対象者について、中学生とその保護者だけでなく、幼小中すべて取ったらどうですか」というご意見や、「情報提供も兼ねて、依頼文にもう少し情報を加えてはどうでしょうか」といったご意見をいただきましたので、前回お示しした資料を修正しました。

資料5の学校再編に関するアンケート調査をご覧ください。

まず、アンケートの対象者ですが、中学生、小学校5・6年生、保護者、教職員としました。幼稚園が入っていないのは、こども園整備に関する基本方針を作成しているところですが、その資料とするためにアンケート調査を行ったばかりですので、今回のアンケート調査の対象から外しています。

裏面の、依頼文とあわせて配布する資料では、なぜ、学校再編について検討しているかを知ってもらいたいため、小学校の児童数の推移や、中学校の生徒数の推移、校舎や施設の老朽化の状況、そして、最後に、これまでの学校再編についての検討の経緯として、提言内容と中学校1校案のメリット・デメリット、小学校2校案、3校案のメリット・デメリットを載せています。さらに、「詳しくは市のホームページをご覧ください」ということで、QRコードで案内しています。

次にアンケート項目をご覧ください。

まず、小学生用ですが、5年生、6年生を対象にしており、問2ではクラス替えについてどう思うかを、あるほうがいい、ないほうがいいというような選択肢で聞いています。問3では、学校が新しくなったり、他の学校とひとつになったりすることについてどう思うかを、楽しみ、楽しみでない、といった選択肢で聞いています。問4では、学校が新しくなったり、学校がひとつになったりするときに、通学の道のりが遠くなることどう思うかの設問を入れてあります。

中学生用については、前回お示しした資料から修正はありません。問3で、東学校と西中学校がいっしょになることについてどう思うかを聞いています。

保護者用は、小学校の保護者も含めたということで、問4の中学校の再編についてどう思うかという設問だけだったところ、問6の小学校の再編についてどう思うかを聞くことにしました。これは、教職員用についても同様です。

説明は以上です。ご意見等ありましたら、よろしくお願いします。

〔議長〕

ありがとうございました。

少し時間をとりますので、アンケートの内容に目を通してください。

～アンケート内容を確認～

〔議長〕

いかがでしょうか。内容の議論の前に、アンケートを取る方法について、事務局から説明してもらえますか。

〔事務局〕

アンケートを取る方法についてはまだ検討中なのですが、小・中学生については、学校に協力をお願いし学校でアンケートに答えていただけたらと考えています。

保護者の皆さま・教職員の方については、お手持ちのスマートフォンなどで回答していただけたらと考えています。

〔議長〕

ありがとうございます。

それでは、内容について皆さんいかがですか。

〔委員 B〕

教職員用で「愛着」を尋ねているのは、どのような意図からでしょうか。

教員は、最長で10年ですけど、1年目の教員がいたり、異動により数年で学校を動いたりしますが、この質問は必要なんでしょうか。

〔事務局〕

保護者用の問と別にしているのは、問の２番の内容は、教職員の皆さんは既にご存じだろうということで、別の内容にしようと考えたものです。

再編をしていく中で、長くお勤めの校舎が変わっていくことについて苦しい思いなどがあるかと考え設問を設定しました。なかなか答えづらいということであれば、修正を検討します。

〔議長〕

教職員用アンケートの（２）については、複数回答可としますか。

〔事務局〕

複数回答は想定していません。

〔議長〕

「愛着がある」と「改善すべき点が多い」は、同じ設問の答えとしては違うかなと思います。

〔事務局〕

表現を柔らかくするよう工夫したところこの表現になったものです。

〔委員 C〕

このアンケートをとる意味や何を目的とするのかを確認したいです。アンケートをとるなら、子どもの意見も尊重しなくてはならないと思いますが、例えば、通学距離が遠くなるなどのデメリットの部分について聞けば、子どもから「いやだ」という否定的な意見が出やすいと思います。そこで、否定的な意見が多く出た場合は、この話を白紙に戻すとかそういった検討をするということなののでしょうか。

〔事務局〕

広く意見をきくということが第一の目的です。その結果、否定的な意見が出てきた場合、改善策を検討することはあると思いますが、それによって方針が全く変わるということはないかもしれません。そういった意見があるということは、改善すべき点があるというように受け止めようと思っています。

〔委員 C〕

仮に、学校再編は望まないという否定的な意見が大半を占めた場合が気になります。

アンケートの結果、そのような否定的な意見が大きいと改善策を考えるのは当然のことだと思いますが、そこから先、我々の話し合いがしづらくなる面が出てくるのではないかと思います。

〔事務局〕

今回のアンケートは、情報提供という部分もあり、なぜ再編の話をしているのかという説明から入っています。子どもの数がどんどん減っているという現実があり、いずれ必ず学校の再編を考えないといけません。善通寺市の場合は、今、その話をしているということですので、説明を続けていくということになると思います。

〔委員C〕

アンケートの取り方を間違えると、3年前の夏休みのアンケートの二の舞になる気がしてそれが引っ掛かっています。

〔委員A〕

小学生・中学生は学校でこのアンケートに答えてもらうということですが、学校の授業等の時間を割いて実施するのでしょうか。

〔事務局〕

まだ案の段階ですので、その辺りは学校と相談してから決めたいと考えています。それが難しければ、他の手段を考える必要があると思います。

〔委員A〕

それと、アンケートについている資料については小学生用ですか。

〔事務局〕

依頼文に付ける資料については共通の予定です。

〔委員A〕

小学校5・6年生に、この文章を見てアンケートに答えてくださいということですか。

〔事務局〕

アンケートの内容に注力しており、その部分については深く検討できていないのですが、小学生には難しいかもしれませんので検討してみます。

〔委員D〕

添付資料について、児童数の推移に関する予測で、与北小学校の児童数に変動がない

ように思えるのですが、これはどういうことでしょうか。

〔事務局〕

それぞれの小学校の児童数について、社人研の推計に基づく減少率をかけた結果を示しています。与北小学校については元々の児童数が少ないので、減少率をかけて端数処理すると、結果的に同じ数値となってしまいます。恣意的に少なくすることもできませんのでそのままの数値を記載しているものです。とにかく、児童数が少ないということが分かっていたければ、それでいいかと考えています。

〔委員D〕

現状の人数のままで30年後までいくということですか。

〔事務局〕

単純に計算するとそのようになるという資料です。計算については機械的に行っており、手を加えるのもどうかと思いますので、そのまま記載しています。

〔議長〕

アンケートについては、本日のご意見をもとに、事務局で改良したものを次回提示していただきますので、忌憚のないご意見をお願いします。

〔委員A〕

そもそもの話でお伺いしますが、このアンケートは、再編を前提として回答を求めるものですか、それとも、再編の是非を問うようなものですか。

〔事務局〕

再編することに関してどう思いますかというスタンスで作成したものです。

また、事務局において悩んでいる点があり、ご意見をいただきたいと思います。

小学生用のアンケートについて、必要かどうか迷っているのですが、小学生用のアンケート自体、必要でしょうか。

〔議長〕

当初からの、子どもたちを真ん中において議論するというスタンスにより、小学校5・6年生へのアンケートを実施するということを検討したものだと思いますが、集計結果をどう使っていくかという問題もありますし皆さんいかがですか。

〔委員 A〕

つけ加えるならば、「10年後にこうなるかもしれませんが、どう思いますか」といった問い方にするのはどうですか。

〔事務局〕

10年後といった問い方は難しいかと思いますが、何年後とは明示せず、児童数が減ってクラス替えができなくなるとしたらどうですかといった問いかけで検討します。

〔議長〕

文科省からの資料で、できるだけクラス替えができるような規模の編成でというものがあつたと思います。それに近づけていくということで、2校案か3校案で検討しているのですが、実際に子ども達がどう考えているのか聞いた方がいいのではないかという委員からの意見もあつたため、事務局に案を作成してもらつた経緯があります。

実際に我々が目にした時、このアンケートをどう使っていくのか、あるいは、どのように考えていくべきなのだろうか、といったところで、問題に直面しているというのが我々委員の率直な意見だと思います。

子ども達を中心にして考えることも、様々な意見を聞くことも大切なことなのですが、実際にアンケート結果を活用できるのかどうかも含め、一度立ち戻って議論すべきかと思います。

今日、結論を出す必要はありませんので、アンケートについても持ち帰っていただき、次回議論していくということも可能だと思いますが、いかがでしょうか。

〔委員 E〕

説明用の資料に、何となくでもいいので、どれくらいの時期に一つ目が統合されるのかといった内容があつた方がいいと思います。保護者の立場からすると、自分の子どものことを思い浮かべて考えると思うので、小学校1年生の保護者と小学校6年生の保護者とでは全然感じ方が違うでしょうし、3年後なのか10年後なのかで反応が変わることも予想できます。このアンケートの内容・結果が委員会の議論の内容に影響を及ぼすのであれば不安な気がします。

〔事務局〕

はっきりと何年後といったことは難しいのですが、その辺りも含め考えてみます。何

年後といった言葉が独り歩きしてもいけないので、慎重に検討します。

〔委員 A〕

回答者にとって、10 年後・15 年後という話であれば、ピンとこない気がします。

〔議長〕

ひとつの考え方として、小学校に尋ねるとすれば、何年後といった表現はせず、「学校でクラス替えができないとしたら、どう思う？」というように、子ども達の気持ちを尋ねる、というやり方もあるのかなと思いました。その辺りも含め次回に議論したいと思います。

〔委員 A〕

アンケートを作成する際に、学校の先生などに意見をもらったのでしょうか。

〔事務局〕

事務局のみで作成したものです。

〔委員 A〕

こういったアンケートを作成するなら現場の意見も参考にした方がいいと思います。

〔議長〕

宿題が多くなり申し訳ありませんが、まずは1 点目、2 校案と3 校案について、再度、次回議論します。グループワークの形態をとるかどうかは、検討させてください。2 校案・3 校案がある程度固まれば、地図上に展開していくことになりますが、その際は子ども園についても展開していかななくてはいけないのでよろしくお願いします。

2 点目ですが、アンケートについては、もう一度持ち帰って皆さんのお考えをまとめていただき、次回にもう一度議論していただこうと思います。

事務局には、グループ毎のシートに基づき、根拠に基づく資料を用意していただくよう、お願いします。

それでは、以上を持ちまして、本日の会議を終了します。みなさん、たいへんお疲れ様でした。次回は11 月17 日の月曜日です。皆さんお忙しいと思いますが、どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

20 時23 分 終了